

授業科目名	イベントコーディネーター実践研究Ⅰ・Ⅱ	担当教員名	小野田 金司			
コース名	ホテル・イベントコーディネーターコース					
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修	Ⅰ：2単位 Ⅱ：2単位	3	Ⅰ：春学期 Ⅱ：秋学期	木・4	講義
授業概要						
<p>イベント（体験型観光を含む）、フランチャイズビジネス、民泊（教育旅行）の実践を通じて、P（企画立案・資金調達）、D（実施計画・実施運営）、C（点検・評価）、A（改善）、の基本的サイクルを理解する。</p>						
到達目標						
<p>PDCA サイクルを理解し、プロジェクトを事業化できる能力（企画力、交渉営業力、予算管理能力など）を身に付ける。</p>						
授業の運営方法						
<p>GOINGKOBE、ルーキージャム、観光パートナーシップ（尼崎、六甲、串本、淡路など）あるいは企業（KNT、ティエラコム、イツコーポレーション、マックアースなど）との共同プロジェクトから、複数のプロジェクトを選択し、各プロジェクトの進行スケジュールに応じて、実践（フィールドワーク）を主体に授業運営します。</p>						
関連科目・知識・スキル						
<p>観光プロモーション論などでツアークリエイター講座の受講を勧めます。</p> <p>その他の関連科目</p> <p>イベント論、イベントビジネス論、アートイベント論、セレモニービジネス論、エンタテインメントビジネス論、セレモニービジネス論などから、参画するプロジェクトに関連する科目を履修することを勧めます。インターンシップ、アルバイトも関連する場合があります。</p>						
成績評価						
<p>実践終了後のレポートを評価します。またプロジェクト中の作業能力、交渉能力、判断力、理解力、コミュニケーション能力などを評価します。連携する外部団体の評価も考慮します。</p>						
教科書・参考書など						
<p>イベントごとに適宜指示します。</p>						
履修上の注意事項						
<p>履修条件は、イベント、FC ビジネス、民泊研究会のサークルに所属するものとします。</p> <p>履修希望者とは面談を行います。2年間継続する授業ですので、履修内容を十分理解し、遂行できる学生に履修登録してもらいます。</p>						

授業スケジュール

第1回 オリエンテーション

プロジェクトの選択。

第2回～第4回・第17回

【企画立案】

イベントの企画立案作業（企画策定ミーティング、企画書作成作業）

第5回～第8回

【実施計画・資金調達】（運営マニュアルの作成、プロモーション、収支管理など）

イベントにより、会場下見など学外教育となる場合があります。また、専門家の外部講師を招聘する場合があります。

第9回～第10回

【実践】

イベントにより、早朝から深夜になる場合や複数日にまたがる場合があります。

また学外との連携イベントの場合は、学外教育となります。

第11回～第15回

【検証作業】

イベントなどのプロジェクトの報告書などを作成する。

また、次年度へ向けての改善点などを調査し

学外連携イベントの場合、外部講師を招聘し、事業報告を実施し、評価をいただきます。

- ※ 原則として春と秋に2つのプロジェクトを実践することとし、上記のパターンを春と秋の2回実施します。
- ※ イベントにより他のクラスとの合同授業となる場合があります。また学外連携の場合は、学外のスタッフとの協働作業となる場合があります。
- ※ イベントの進行スケジュールに応じて授業を展開しますので、曜日時限は時間割通りになりません。フレキシブルにスケジュール調整をできない学生は履修できません。
- ※ 夏期・冬期・春期休暇期間にも授業がある場合があります。
- ※ 極力他の授業に影響が出ないように務めますが、一部欠席せざるを得ない場合があります。
- ※ 交通費など自己負担のないように外部資金を利用するように務めますが、一部個人負担になる場合は前もって金額を提示します。それによりプロジェクトの選択を変更することは可能です。

学生への一言

学外の企業や団体との接点も多くなります。基本的なマナー（服装、言葉遣い、報告連絡など）に問題のある学生は履修できませんので注意してください。

学生ベンチャーなどを考えている方は是非履修してください。

授業科目名	イベントコーディネーター実践研究Ⅰ・Ⅱ		担当教員名	内藤 敏樹		
コース名	ホテル・イベントコーディネーターコース					
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修	Ⅰ：2単位 Ⅱ：2単位	3	Ⅰ：春学期 Ⅱ：秋学期	月・4	講義
授業概要						
<p>イベント（催事）は、多くの場合何らかの商業的（事業的）意図が背後にあります。単純に言えば「金儲けのため」であることが少なくありません。ここではイベントをビジネスの一つととらえ（そうでないイベントが沢山あることは承知していますが）、商業的に成功させるために何が必要なのかを考えていきます。</p>						
到達目標						
<p>学問の分野でいえば、「マーケティング」を理解することが目標です。マーケティングを理解するための学習を通じ、各種の問題解決手法を身につけることも副次的な目標となります。</p>						
授業の運営方法						
<p>基本的に座学・輪講の形態をとります。ただし申し上げておきたいのは、通常の講義と異なって皆さん方が主体となって授業を進めていただくということです。その意味では授業もイベント（プロジェクト）の一つであり、皆さん方がちゃんと分担して準備しておかなければただちに終わってしまうのです。</p>						
関連科目・知識・スキル						
成績評価						
<p>ペーパーテスト等も何回か行いますし、プレゼンテーションをしていただくこともありますが、「結果」よりも取組姿勢の方を重視した成績評価とします。</p>						
教科書・参考書など						
<p>授業中に都度指示します。</p>						
履修上の注意事項						
<p>実践研究の時間はここで述べたテーマの学習・調査研究・実践などの作業の他に、生活・学習指導、あるいは就職準備のための事項等が入ります。</p>						

授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. マーケティングの本質 (以下輪講)
3. 顧客満足と顧客価値
4. 市場指向
5. 戦略的マーケティング
6. 消費者行動
7. マーケティング調査
8. STP
9. 製品戦略
10. ブランド戦略
11. 価格戦略
12. 流通チャンネル
13. サービスマーケティング
14. 統合型コミュニケーション戦略
15. 広告・販売促進
16. 顧客価値の伝達

(項目は例である。1単元が1時間に相当するとは限らない。)

学生への一言

授業科目名	イベントコーディネーター実践研究Ⅰ・Ⅱ		担当教員名	田辺 清人		
コース名	ホテル・イベントコーディネーターコース					
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修	Ⅰ：2単位 Ⅱ：2単位	3	Ⅰ：春学期 Ⅱ：秋学期	月・2	講義
授業概要						
<p>イベントと一口にいってもオリンピックや国際博覧会などの大規模イベントやメーカーや百貨店などが行う販促イベント、演劇・音楽などの文化興業となるイベントなど色々な形態があります。</p> <p>ここでは、大量集客・複数の企業（国・地方自治体、広告代理店、旅行代理店、運営会社等）が参加する大規模イベントの例題にして、イベントビジネスの基本構造を学習します。</p> <p>また、最新のイベントの演出内容（コンテンツ）についてもみんなで学習します。</p>						
到達目標						
<p>①イベントビジネスの基本構造の理解（来場者の視点、主催者の視点、実施者の視点）</p> <p>②イベントビジネスにおける各参加者の役割の理解</p> <p>③イベント事業スキームの理解（お金の流れ）</p>						
授業の運営方法						
<p>1 講義の前半45分は、イベントビジネスの座学となります。後半45分は、実際のイベントの事例の紹介・研究となります。場合によっては、プレストの時間となります。</p>						
関連科目・知識・スキル						
成績評価						
<p>Ⅰ：春学期</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 30% テスト 70%（予定） <p>Ⅱ：秋学期</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 30% プレゼンテーション（企画書）70%（予定） 						
教科書・参考書など						
<p>オリジナル資料の配付</p> <p>参考書：『イベントマネジメント』（社団法人日本イベント産業進行協会）3000円</p>						
履修上の注意事項						
<ul style="list-style-type: none"> パソコン必須（パワーポイント、ワード、エクセル） 						

授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. ～4. イベントビジネス理論
(概念、歴史、分類方法、社会への役割など)
5. ～11. イベントの形態分類
 - ・大規模イベント (博覧会、F1、オリンピック)
 - ・会議、集会イベント
 - ・展示会、見本市
 - ・文化、スポーツイベント
 - ・テーマパーク、アミューズメント
12. ～20. イベントビジネスの基礎知識
 - ・企画／事業推進
 - ・スケジュール管理
 - ・予算管理
 - ・広報宣伝／広告業務
 - ・公募、契約
 - ・リスクマネジメント
21. ～24. コンテンツ製作及び会場運営
 - ・演出、アトラクション、技術
 - ・会場運営 (サービス、清掃、警備、輸送、入場券)
 - ・営業施設 (物販、飲食)
25. ～29. 演習
 - ・企画書づくり
 - ・プレゼンテーション
30. まとめ

※演習については、イベント開催予定地またはイベントを調査して基本構想レベルの企画書をつくりプレゼンテーションを行います。

対象イベント候補は、『平城遷都1300年記念事業 (奈良県・奈良市)』、または、『上海万博日本館 JAPAN week イベント』『第21回冬季オリンピック (カナダ・バンクーバー)』『FIFA ワールドカップ (南アフリカ・9都市)』『第16回アジア競技大会 (中国・広州)』等を予定しています。

学生への一言

イベントの特性 (一過性、再現不可能、生モノ) を考慮すると現場への調査が理解の早道です。最新のイベント情報を提供しますので、多角的にイベントビジネスを調査して理解して欲しいと思います。